

Cazenovia College

留学新聞 2021年9月 Vol.1

アメリカでの生活

丹羽 智恵子著

コロナウイルスにより、延期になっていた留学が一部で再開となりました。昨年は留学が実施されなかったため、来年留学を目指している学生や、アメリカでの留学生活に興味を抱いている本学学生のみなさんに少しでも情報を伝えたいと思い、留学新聞を発行する事に致しました。

1824年に創立されたカゼノビア大学は、ニューヨーク州カゼノビアに立地する豊かな自然と閑静な住宅に囲まれた大学です。大学の職員、学生を始め、地域の人々もフレンドリーで、とても過ごしやすい環境です。アメリカンスタイルの家々が並ぶ街並みは、どこを切り取っても絵になります。



~With friends on campus~

コロナについて

カゼノビアに到着後、一週間の隔離生活と再度のPCR検査を経て、留学生活を開始しました。受講中及び寮では、シャワーの時以外はマスク着用が義務付けられていますが、屋外ではマスクを外す事ができます。写真撮影用に、マスクを外していますが、用心のために私たちは屋外でもマスクを着用しています。現在カゼノビア大学では93%のコロナワクチン接種率となっており、生徒には原則としてワクチン接種が求められています。またそれと同時に、至る所でコロナウイルス予防の啓発ポスターを見る事ができます。



Cazenovia College's mascot Wild Cat "CAZ"



~Best friends~



~We went to the farmers market~



The farmers market



授業風景

今回はKiln-Formed Glassのクラスを紹介します。板ガラスをカットしたり溶かしたりして、アクセサリーやコースター、オブジェなどを作るクラスで、授業が週3回あります。作業場は、2名以上が立ち会う事で、24時間使用する事ができ、作品作りに専念できます。講師のキム教授は、とても優しく、丁寧に説明してくださるので、言語の壁を感じる事なく授業に参加できます。クラス外の活動も、比較的長時間になる傾向があるので、友達を作りやすいクラスと言えます。前々年の先輩方も三名とも受講されていたようで、先輩が残されていた作品を見せてもらったり、三人がどんなに素晴らしい生徒であったかを聞かしてもらったりしています。また、自分の作品が、窯で焼き上がる感動は素晴らしいです。ガラス細工はとても綺麗で、来年留学する方にも是非お勧めしたいクラスです。



作成途中の作品たち。次の工程では研磨や、穴を開ける作業を行い、アクセサリーやマグネットに加工します。



キャンパスの庭に住むリス。
撮影：加藤 泰久

~With Prof. Waale Kim. During the class~

WELCOME WEEK

ウェルカムされた一週間！！新学期が始まってからの7日間は、毎日必ずイベントがありました。写真は絞り染め体験の様子です。この他にもくじ引き大会や、ランタン作り、映画鑑賞、コメディアンショー、クラブ説明会などがあり、現地の友達を誘って参加しました。映画Rushed (2021)は、キャンパス近くにある大学の映画館で夜に上映され、いつもとは違った雰囲気を感じることができました。Lucas Bohnさんによるコメディアンショーも夜に行われ、他の学生たちと一緒に盛り上がりました。ショーの中で、「交換留学生のいる？」と言われ、ドキドキしながら手を上げました。Lucasさんはさすがプロのコメディアンだけあって、すぐに日本の話題「進撃の巨人」をふってきてくれました。常にinclusiveであるためには、様々な事に興味を持ち、引き出しを用意しておく必要があると学んだ一日でした。



DINING HALL

ダイニングホールでは、ビュッフェ形式で好きな料理を好きなだけ食べる事ができます。メイン料理はバーベキューチキンや、ローストビーフ、鰯料理などがあり、奥のスペースではエビや鶏肉、ビーフなどをその場で野菜と炒めてくれるスペースがあります。ソフトクリームも食べ放題です！アメリカに来て、驚いた事は何種類ものじゃがいも料理がある事です。最初の2週間は、朝昼晩で見事に毎日まったく違った調理法で提供され、感動しました。フライドポテトも形や太さなど様々で、味付けも色々あります。友達が教えてくれたのは、フライドポテトにアイスクリームを付けて食べる食べ方で、彼女はこれをdessert poutineと名付けていました。この甘い&塩辛い味はアメリカではポピュラーなようで、先日もおすそ分けしてもらったポップコーンがこうした味付けのものでした。